

# よいお年をお返すとわら

今年の48本目が「事務所便り」の最終版です。この一年、つたない癖のある書面にお付き合い頂、誠にありがとうございました。

日本史に残る経済敗戦後、激動期の始まりの年でした。バックNOの、タイトルを振り返り、見ただけでも伺えます。今年、平成24年2月15日

(有)西川経営オフィスサービス

**事務所便り**

2012年12月21日 (金) NO. 283

地域から明るい未来を作ろう

「水」No. 237号の「大本営とNHK」「基本ソフトの更新」から始まりました。平成23年10月14日(金)No. 236号の

「日本はダメになった」から今年の2月までの四ヶ月間を休刊しました。休みの理由は何であったか今、全く思い出せない。平成23年始めから10月始めの75本は週2本ペース。限界だったのでしょうか。

今もですか？当時は暗黒、光も希望のない閉塞状況で全く前が見えない。

ようやく衆議院選挙も終わり、売国奴たちは一旦去った。日本国民は賢明な選択をしたのでしょうか。新時代に向け微かな希望が見えるようです。指標のひとつ日経株価平均自体、半年から一年先の社会を映し出すと言われています。

現在「事務所便り」は、週一ペースで何とか落ち着いています。人は皆「人生は巡り合わせ、すべては一瞬にして変わる」と知る・・・。

社会の事象は選択による結果です。良いとか正しいとかではなく、選択した結果でこの地上に存在するのです。

「人と作(な)るには一点の素心を存することを要す人と交わるには須らく三分の狭気を帯べし」―葉根譚

暴力団など反社会的勢力に対し資金提供を行わないのは、コンプライアンスそのものです。反社会的勢力は、企業で働く従業員を標的とし不当要求を行ったり、企業そのものに乗っ

## 正月休みは29日~翌6日まで

鳥の雄が優美な羽を持つたのは、雌が派手な雄を単に好み受け入れただけです。その選択の繰り返しで雄は見事な羽を持ったのです。人類も同じ？

AKB48の総選挙と衆議院選挙、センターをじゃんけんとか、いったいどこが違うのか。進化？二本足の雄と雌がでた。二足の嘘を見抜けなかつた結果、近隣の三流国から完全に見下されました。

特攻で国に殉死した若者は・・・この程度の恥知らずな自国民にです。

団塊の世代も高度経済成長期に、家庭を顧みず仕事を極めた結果が。子孫に対して凄まじい衰退を招いた。マルクスの言う搾取と収奪が、国家規模で「提灯持ち」の手で行われたのです。

取ろうとしたりするなど、最終的に従業員や株主を含め企業自身に多大な被害を生じさせるものです。

「三分の狭気」とは日本の権力(暴力)の実態そのものではないのか。何に対して反社会的か。道義と定義は何か。追米でなければ反社会的なのか。これまで組織的暴力団を生かす素地が権力側に無かったのか。陰に隠れ利用し「街宣車」を使ってきたのではないか。

# 三分の狭気

マスコミや反社会的勢力との関係遮断は、企業防衛の観点から必要不可欠な要請です。しかし良く考えると「反社会

